

高梁市まち・ひと・しごと有識者会議（第4回）会議要旨

日 時：令和8年1月28日（水）15時00分～16時10分

場 所：高梁市役所 3階大会議室

出席者：委員 別紙名簿のとおり（欠席：竹本委員、西崎委員、吉川委員、横山委員）

市 山川部長、赤木部長、波戸参与、内田部長、妹尾部長、藤井部長

庶務 大森秘書企画課長、宮田課長補佐

1 開 会（15：00）

2 あいさつ 井勝委員長

3 議 題

（1）総合計画後期基本計画案について

【質疑・応答】

○各施策の主要な取り組み、基本方針2 政策1「学校教育」（P11）について、昨年小学校6年生と中学校3年生の学力テストの結果が全国水準から比べても低い結果だった。主な取り組みで「学力の向上」が必要ではないか。移住定住促進にも、教育の質が重要と考える。

⇒教育分野においても教育振興基本計画の改訂を進めている。指摘のあった確かな学力の向上は個別計画の中にも入っている。高梁市が全国平均よりも低い値であったことは事実で、授業の質の向上、ICT推進など、個別計画にも入れており、推進を図る方針である。KPIにも取り入れている。

○学力の向上は重要、「確かな」より、「的確な」等の明確な表現を使うのが良いのではないか。

○資料3 基本方針1 政策1 施策1「切れ目ない子育て支援」（P2）の部分で、子育て支援センターの利用率の目標値が50%の根拠はなにか？子育て関連でKPIにファミリーサポートセンターの会員数と子ども家庭センターの3つの施設がでているが、内容がわかりづらい。

また、基本方針1 施策1-1「生活習慣病予防」のKPI、「特定保健指導率」の現状22.7%で目標60%の理由は何か。いま集団検診がなくなって、受診率を高める機会がなくなったので、これを達成できるのか。

⇒子育て支援センターの利用率は現状22%である。昨今、子育て支援センターが高梁こども園の中にでき、今後利用率の向上が見込まれ中で、施策の強度も踏まえて、明確な根拠があるわけではないが目標設定しているところ。また用語について、子育て支援センターは就学前児童を対象として子育てに関する相談や各家庭の課題の解決を行なっている、ファミリーサポートセンターは子育てに協力してくれる親を登録し、育児の助け合いを促進する機能、こども家庭センターは市役所の機能の一部（相談等窓口）である。言葉がわかりづらいので、表現の変更も考えていく。特定保健指導率について、数値の設定根拠は手元にないが、今まで正確な数値を測ることもできなかった。今後、特定保健健診の実態把握ができる状態を作り、目標60%の達成に向けて取り組んでいきたい。

○資料 1 P3 「施策体系」以降について、健幸都市から重点目標が決まったことは良いと思うが、(先行して) 行財政改革プランが策定されており、(後期基本計画の重要な視点として) 厳しい財政がでてきていると思う。後期基本計画の施策体系が人中心と示しているが、基本方針 1 (子育て、福祉、移住等) や 2 (教育、文化スポーツ、人権等) はお金を生み出す施策ではないため、重点目標を達成する上で、厳しい財政状況ではあることを認識している、ということは後期基本計画の中に明記しておいた方が良いと思う。

⇒ (後期基本計画は) 選択と集中の意識を持って取り組むべきで、ご指摘のあった事項は記述していきたいと思う。

○子ども支援について、子どもの定義がわからない。小学生までか、高校生までか。

⇒ 基本的には児童福祉法に定めのある高校生以下である。

○資料 1 P6 「分野別の取り組みの方向性」の分野 2 ●女性活躍社会への意識の醸成について、意識醸成だけでは弱いのではないか、「女性活躍社会の構築」くらいの表現にすべきではないか。同ページ 分野 4 ●高い防災意識の浸透 も表現として弱いように感じる。「防災システムの構築」くらいの表現が必要ではないか。同ページ 分野 5 「公聴活動の推進による市民からの意見」について、方向性は良いと思うが、もう少し密度の濃い「市民ワークショップの実現」くらいまで書き込まないといけないのでないか。

資料 3 に細かな指標案がある。前期指標の踏襲をしている意図はわかるが、違和感のあるものをお伝えします。

基本方針 1 政策 2 施策 3 「持続的な地域医療体制の構築と維持」(P10) の KPI 「救急搬送件数のうち、傷病程度が軽症の方の割合」について、重症者が救急搬送を呼んではいけないような解釈にもなってしまう。「人口に対する医師の割合」等がよいのではないか。

基本方針 2 政策 1 施策 2 「教育体制・環境の整備」(P31) の KPI 「普通教室への LED 整備率」、教育環境の整備においてこの事項が代表指標であることも疑問なので検討してほしい。

基本方針 2 政策 3 施策 1 「人権尊重・男女共同参画社会の実現」(P40) の KPI 「審議会・委員会等での女性委員の割合」について、これよりもジェンダーギャップ指数という世界的に採用されつつある指標を市で算出して目標設定ができないか。

基本方針 4 政策 1 施策 1 「環境保全対策の推進」(P55) の KPI 「飼い主のいない猫の避妊去勢手術頭数」、これはもっと環境に関連する内容が良いのではないか? CO₂ 排出量や再生可能エネルギー導入量など、他計画でも上がっている指標があるので、こちらで良いのではないか。現時点で検討が難しい部分もあるかもしれないが、検討できるのであれば検討してほしい。

○基本方針 1 政策 4 施策 2 「関係人口の拡大」(P20) の KPI について、「関係人口創出プログラムの参加者数」が現状 6 人で目標が 100 人であるが、具体的な施策はあるか。

また、基本方針 3 政策 2 施策 1 「観光の振興」(P52) について、観光分野リピート率向上、観光消費額向上はこれまでずっと目標としてきたが達成が難しい。市内に店舗

等も減ってきてている。計画の中で指標としてあげて良いものかと感じた。

⇒関係人口の獲得について、例えば「ふるさと住民制度」の拡充が国でも審議され、新たな施策として上がっている。そのような施策も見据えながら、過去に取り組んだ「高梁 ist」の人数を参考にしながら、目標設定している。井勝委員長から意見のあった「男女協働参画」の指標については、国県の方向性踏まえて「企業への意識啓発」等を進めるところを追加している。若者女性に選ばれる街になるべく男女共同参画計画の中でも盛り込んでいる。KPI としてのジェンダーギャップ指標の導入や、環境分野における再生可能エネルギーに関する指標設定等については、検討を進める。

⇒観光関連（リピート率向上、観光消費額向上）について、市内関係団体との連携、商品等の造成等を進めることで、目標達成を目指す。今後は多くの人が来るよりも、一人当たりの消費額を増やすことを重視するようと考えている。

○観光客の客単価が低い。新見市は1万円を超えてる。宿泊、飲食があまりないことが大きいので、改善していけるとよい。また、今後パブリックコメントにかかると思うが、市民との対話をもう少し重視する視点を大事にしてほしい。あと、これらの目標を達成するための体制がさらに重要なので、推進体制をどのように考えているのか。
⇒計画を作るだけで終わりではないので、市長の公聴活動などで理解を促進することはこれからも続けていく。施策評価も重要なので、行政での各施策の推進に加えて、委員会での評価改善を進めていく。約70の指標の達成をPDCAサイクルを回しながら各施策を推進していきたいと思う。

○基本方針1政策3施策3「地域福祉活動の推進」のKPIが簡素と感じる。今挙げられている指標よりも、兼業支援に繋がられる支援が重要なのではないかと感じ、もう少し適切な指標を考えられないか。他候補があればお聞きしたい。

⇒市民後見人の登録数など意見いただいたが、何か定量的に測れるものないのか、検討していきたいと思う。

○計画は具体的なところまで書かないとは思うが、もう少し具体的な事項が必要になってくる。これだけでKPI達成までは見込めないので、しっかりとした覚悟で取り組んでもらいたいと思う。

○最後に、次回また5年後に次期総合計画を作ることになると思う。2050年の高梁市の未来ビジョンを、市民を集めて練って、それを元に10年間のプランを作ってほしい。2050年だと人口は15000人の人口になっている。その人口規模で持続可能な社会をつくるかを考え、バックキャストで施策を考えていかないといけないと思う。希望として伝えておく。